

平成 21 年度 第 2 回当別町地域公共交通活性化協議会 議事録

日時：平成 21 年 9 月 8 日 16:00～

場所：当別町役場第二庁舎 2 階会議室

出席委員 15 名、欠席委員 8 名（内代理出席 2 名） オブザーバー 3 名、傍聴人 2 名

1 開会（司会：増輪事務局長）

2 会長挨拶（近藤会長）

地域公共交通活性化事業は 2 年目に入り、様々な活性化事業を進めているところである。本日は、7 月に受賞した国土交通大臣表彰や実施済みの活性化事業などの報告、10 月に開催を予定しているバス祭りの審議を予定しているので、活発な議論をお願いします。

3 委嘱状の交付（近藤会長）

会長より委嘱状交付。

スウェーデンハウス株式会社スウェーデンヒルズ管理センター長 木村 幸司 様

4 報告（事務局）

（1）平成 21 年地域公共交通活性化・再生優良団体大臣表彰について 資料 1

前回協議会の後、泉亭町長以下町部局 2 名と協議会委員であり運行事業者である有限会社下段モータースの下段社長が出席し、表彰を受けた。

表彰、写真撮影の後、事例発表として、町長が参加者に対して発表を行った。

住民に対しては、とうべつバス通信第 1 号と、広報とうべつ 8 月号で周知済み。

選考では、受賞 5 団体のうち、一番に当別町の受賞が決まったと聞いている。

（2）利用促進バスツアーの開催について 資料 2

ツアーの応募が予想以上に多かったため、休団よりチケットが確保でき、バスの座席に余裕があったため、当選人数を増加して実施した。

観戦についての車内での説明や会場の誘導については、当別ファイターズクラブに協力いただいた。

（3）当別ふれあいバス 平成 21 年 8 月までの実績について 資料 3-1～3-3

全体利用者数は過去 3 年と比べて最も多く推移しているが、路線別で見ると、金沢線以外の路線については減少している。金沢線は北海道医療大学への通院・通学の無料チケット利用者がほとんどのため、有料で利用している人数が減少している。

このため、利用者数が増加しているものの、収入については前年比 6% の減少となっている。

今後は、アンケートやワークショップなどを開催して、利用者増加を図る。

(4) ニュースレターの発行について 資料 4

今年度分として、8月に第1号、9月に第2号を発行した。第1号は大臣表彰と3月に導入した音声映像案内システムと待合所の紹介、第2号はバス祭りの案内とバスツアーの報告、導入予定の新規車輛と図書返却サービスの紹介を行った。

10月は発行せずに次号は11月に発行予定。大人数での札幌ドームの移動となり、参加者は会場に不慣れな人が多いと予想されるため、会場の説明や誘導を当別ファイターズクラブに協力いただく。

(1)~(4)までの質疑

質問：菊池委員（当別町高齢者クラブ連合会副会長）

ニュースレターと町の広報と重複している内容があるが、それでは無駄にならないか。

回答：五十嵐事務局員

ニュースレターに関しては、町の広報が行き渡らない人に対しても見てもらっているため、重複する部分が多少出てくる。ご理解いただきたい。

5 議事（事務局）

(1) 当別ふれあいバスを利用した図書返却サービスについて 資料 5

昨年度検討した物流システムのうち、図書の返却サービスについて10月より試験実施する。

町立図書館のふくろう図書館と西当別コミュニティセンター図書室で借りた図書を、バスの運転手に手渡し、返却できるようにする。

図書の配送については、回送車輛を活用することで、運行に負担をかけずに実施する。

質疑

(1)の議事について、質疑はなし。

(2) バス祭りの内容について 資料 6-1~6-4

ステージ上では共催事業の駅伝大会表彰式と、それに合わせて来賓挨拶、終盤に抽選会を行う。

駅前駐車場会場では、事前スタンプラリーの景品交換やアンケート調査のほか、BDFに関する展示や、環境に関する企業出展、子供向けの縁日や飲食出展を計画する。

車両展示会にはJR北海道のDMV、ジェイ・アール北海道バスのハイブリッドバスとCNG（天然ガス）バス、北海道中央バスのハイブリッドバス、ふれあいバス新規導入車輛のポンチョを展示する。

DMVの車輪ギミックのデモンストレーションを行う（全4回）

展示している車輛でバスの乗り方教室、バリアフリー教室を開催する（全4回）

ハイブリッドバスによる試乗会を開催する（全4回）

これらのデモや教室、試乗会は時間が被らないよう調整して、スムーズに体験できるよう配慮する。

ふれあい倉庫ではパネルや映像による地球温暖化・ふれあいバス・DMVに関する展示を行う。

バスでの来場者には記念品が渡るように工夫する。

共催事業としてさわやか駅伝大会が開催される。参加者が祭り会場に多く来る予定。表彰式も会場で実施する。

ふれあい倉庫でも共催事業として収穫祭を開催する。双方で宣伝し、来場者の相乗効果を狙う。

質疑

(2) の議事について、質疑はなし。

(3) 今後のスケジュールについて 資料 8

今後は 10 月 1 日に図書返却サービスの開始と、10 月 4 日にバス祭りの開催を予定。

その他の事業として、9 月から 10 月にかけて小中学生に対するモビリティマネジメントの実施、住民向けのワークショップの開催を予定している。

次回の協議会は来年度ダイヤ改正を協議するため、12 月頃を予定している。

現在の政治の情勢から、制度が変わり事業について変更が余儀なくされた場合は、急遽開催する可能性がある。

質疑

(3) の議事について、質疑はなし。

6 その他

質問：菊池委員（当別町高齢者クラブ連合会副会長）

中小屋地区の住民から、ふれあいバスを中小屋まで走らせて欲しいとの要望があった。

スクールバスの混乗も乗り方がわからないと言っていた。

回答：高橋委員（当別町教育委員会教育部長）

スクールバスは学校の登下校のみ、登校は 7 時台に 1 便、下校は日によるが放課後の時間帯に 2 便走らせている。

回答：五十嵐事務局員

中小屋地区の要望は事務局として把握していなかった。今後、内容を確認したい。

増輪事務局長

委員の皆様におかれましては、ぜひバス祭りに参加いただきたい。

7 閉会（近藤会長）